

Combi

コンビ チャイルドシート THE S Long

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書はベースカバーの収納ポケットに保管してください。
(6 ページ参照)
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。

本製品は、UN R129/04 において認可されたアイサイズ改良型幼児拘束装置 / アイサイズブースターシート改良型幼児拘束装置です。本製品は車両メーカーによって車両ユーザーマニュアルに記載されている i-Size 適合車両着座位置または ISOFIX 型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX 取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ジュニアモードでは、UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された 3 点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。ご不明な点がございましたら、当社コンシューマープラザまたは販売店にお問い合わせください。
ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書を確認してください。

ご使用の向き		お子さまの条件	
チャイルドモード	後向き	身長: 40cm ~ 87cm まで	※体重 18.5kg を超えるお子さまには使用できません。
	前向き	身長: 76cm ~ 105cm まで かつ 月齢 15 か月以上	
ジュニアモード	前向き	身長: 100cm ~ 125cm まで	



お使いいただく前に

各部の使いかた

チャイルドモードの使いかた

ジュニアモードの使いかた

お手入れ・その他

⚠ 危険

お子さまの身長が 76cm かつ月齢が 15 か月以上になるまでは、前向きで使用しないでください。

⚠ 注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1 時間程度を目安に休憩をとってください。

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	7
取り付けできる座席	10
車両シートベルトの種類と使用上の注意 (シートベルト使用時)	11
取り付けできない座席	12
安全にお使いいただくために	14

各部の使いかた

リクライニングのしかた	23
回転のしかた	25

チャイルドモードの使いかた

取り付け準備	29
車への取り付けかた	31
取り付け完了チェックのしかた	35
車からの取りはずしかた	37
シートの取りはずし、取り付けのしかた	39

お子さまを乗せたシートの持ち運びかた	43
幼児肩ベルト位置の調節のしかた	44
お子さまの座らせかた	47
お子さまの降ろしかた	50

ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードへの変更のしかた	51
取り付け準備	56
車への取り付けかた	57
お子さまの座らせかた	59
チャイルドモードへの戻しかた	62

お手入れ・その他

インナークッションの使いかた	64
幌の使いかた	69
カバーの取りはずしかた・取り付けかた	72
お手入れのしかた	75
保管・廃棄のしかた	76
品質保証書	77
お問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に「品質保証書」に次の項目を記入してください。

①製品名とロットNo.

ヘッドガード裏側(6ページ参照)に貼ってあるシールに記載されています。

②お客様のお名前・ご住所・電話番号

③販売店名

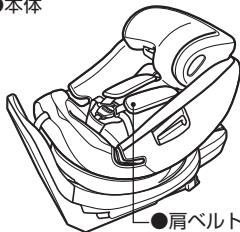
●レシート(領収書)を本書といっしょに保管してください。

※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※ シートカバー・インナークッション・幌・肩ベルトカバーなどは製品により仕様が異なる場合があります。また、製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

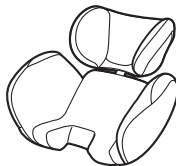
梱包内容

●本体



●肩ベルトカバー

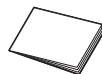
●インナークッション



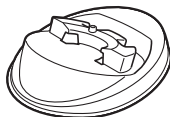
●幌



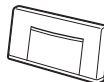
●取扱説明書(本書)



●シートホルダー



●ベースカバー



●ISOFIX キャップ



●お客様登録カード

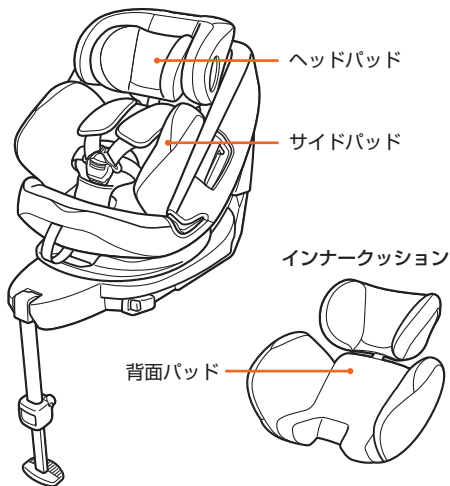


本書で使われる
「本体」「シート」「ヘッドガード」
「ベース」「サポートレッグ」とは、
下記の部位をいいます。



正面

インナークッション装着時



各部のなまえ

正面

タング
(マグネット)

※タングが通り抜けてしまうときは、タングストッパーを折り返してください。



バックル

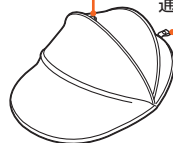


タング
ストッパー

幌

前向き用ベルト
通し穴

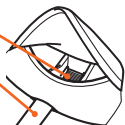
ベルト
ホック



※製品仕様により、形状が異なります。

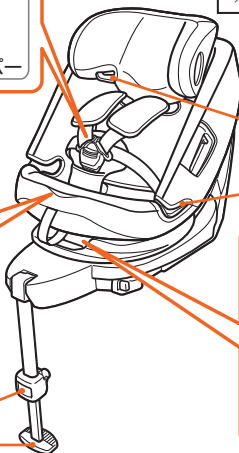
ベルト調節ボタン

調節ベルト



肩部ベルトガイド

腰部ベルトガイド

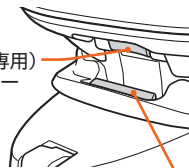


ロック解除ボタン

レッグエンド

(回転専用)
センター
レバー

リクライニングレバー

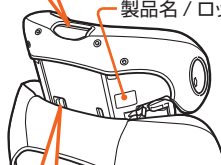


背面

上部ヘッドガード調節レバー



製品名 / ロット No.



背面ヘッドガード調節レバー



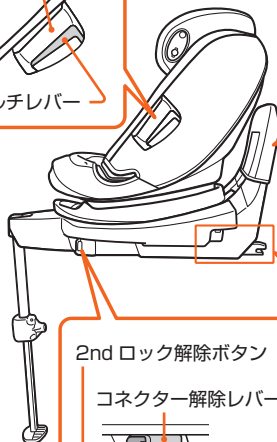
側面

(回転・着脱)
マルチレバー



持ち手

マルチレバー

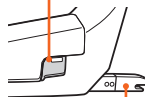


ベースカバー

取扱説明書
収納ポケット



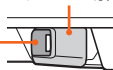
コネクタ
調節レバー



コネクタ

2nd ロック解除ボタン

コネクタ解除レバー



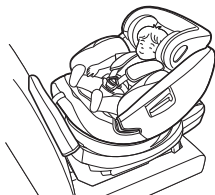
ご使用の条件

ここでは、お子さまの身長によるシートの向き、インナークッションの使用条件などを説明しています。

後向き（進行方向に対して後向きに取り付け）

お子さまの条件

身長40cm → 身長87cmまで
または体重18.5kgまで



危険

お子さまの身長が76cmかつ月齢が15ヵ月以上になるまでは、前向きで使用しないでください。

ワンポイント



お子さまの足が車両背もたれにあたるなど、後向きでの使用が体格に合わないと感じた場合は、前向きで使用してください。

インナークッションの使用条件

使用する

使用しない

身長40cm～65cm未満の場合 身長65cm～75cmまでの場合 身長75cmを超える場合



お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる



※インナークッションは製品により仕様が異なる場合があります。
※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。



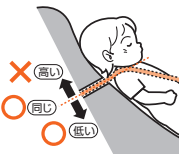
警告

必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。

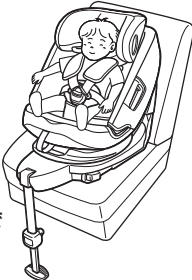


幼児肩ベルトの位置について

インナークッションの使用有無に関わらず、幼児用肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。



前向き（進行方向に対して前向きに取り付け）

お子さまの条件	インナークッションの使用条件
チャイルドモード 身長76cm以上 かつ月齢15ヵ月以上 ↓ 身長105cm または体重18.5kgまで 	使用禁止 幼児ベルトの位置について 幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置になるように調節して使用してください。 
ジュニアモード 身長100cm以上 ↓ 身長125cmまで 	⚠ 危険 お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。 【チャイルドモード】 身長76cm～105cmまで、かつ月齢15ヵ月以上（※体重18.5kgを超えるお子さまは、使用できません。） 【ジュニアモード】 身長 100cm ～ 125cm まで

ご使用の条件

ここでは、お子さまの体重による持ち運び・シートホルダーの使用条件などを説明しています。

シートホルダーへの取り付け

お子さまの条件

使用可能：体重9kg未満まで

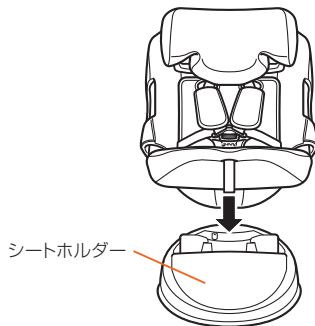
使用禁止：体重9kg以上

※目安となる月齢：12ヵ月ごろ



持ち運びが困難だと感じた場合や、お子さまの体格に合わないと感じた場合は、使用しないでください。

- シートをシートホルダーに正しい向きで取り付け、しっかり固定されていることを確認してください。
- インナークッションの使用条件については、7ページを参照してください。
- 取り付けの向きについては、シートホルダーのステッカーを参照してください。



取り付けできる座席

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。
ただし、ISOFIX取付金具（バー）を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。
- ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適用しているか確認してください。

■車種適合の確認

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/

コンビ 適合

検索



■本製品のISOFIXサイズクラス

ご使用の向き		固定具
チャイルドモード	後向き	R2
	前向き	F3
ジュニアモード	前向き	B2

- ※後向きでヘッドガードの位置を高くしたときに、前座席にあたる場合があります。
その場合は、前座席の位置を調整してください。
- ※前向き使用時、リクライニング位置によっては、すべてのi-Size適合車両の座席に取り付けできない場合があります。

ISOFIX取付金具について

ISOFIX取付金具とは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具（バー）です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



警告

ご使用の際は、車両の取扱説明書を確認してください。

車両シートベルトの種類と使用上の注意（シートベルト使用時）

ジュニアモード（身長：100cm～125cm）で使用する場合

ジュニアモードは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

危険

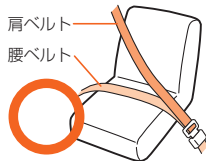
- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

2点式シートベルトとは



図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。

3点式シートベルトとは



図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。

シートベルトの種類と特徴（見分けかた）	取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。（シートベルトを全て巻き戻すと解除される）
その他	上記に当てはまらないシートベルト。 使用できません。

※ シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

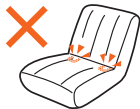
取り付けできない座席



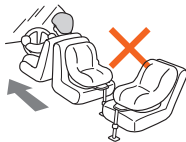
次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

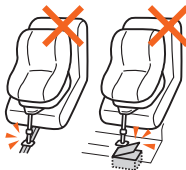
- チャイルドモードでの使用時のみ
ISOFIX取付金具(バー)が
装備されていない座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- サポートレッグの先端部に座席の**スライドレール**
や床下収納スペースなどがある座席。



- フロントエアバッグ装備の座席。
サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- 座面の凹凸が極端で、
取り付けたときに不安定になる座席。



- 床に対して座面が低い座席または高い座席、
床の形状などにより、サポートレッグを正しく
使用できない座席。



取り付けできない座席

- ジュニアモードでの使用時のみ
車両シートベルトの付いていない座席。



- ジュニアモードでの使用時のみ
2点式シートベルトの座席。



- ジュニアモードでの使用時のみ
車両シートベルトの長さが**極端に短い**座席。



- ジュニアモードでの使用時のみ
パッシブシートベルトの付いた座席。
車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。
(オートマチックシートベルト)



- ジュニアモードでの使用時のみ
車両シートベルトが**座席の中間から出ている座席。**
チャイルドシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、
前方向からシートベルトが出ている座席。



⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けしないでください。必ずサポートレッグを出して、長さを調節してください。



- フロントエアバッグ装備の座席では、使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



- チャイルドモードで使用の場合、車両シートベルトで固定することはできません。

- ジュニアモードで使用の場合、お子さまを座らせたとき、車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。



- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰、正座をしないように注意してください。



安全にお使いいただくために

⚠ 危険

- チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニングや回転の操作ができない、またはロックできない場合があります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、取りはずせない場合は他の座席に取り付けてください。

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモードで使用する場合は車両シートベルトをはずして)すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- 緊急時に同乗者の脱出のさまたげになる座席には、チャイルドシートを取り付けしないでください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- お子さまが座っていないときでも、ISOFIXコネクター（チャイルドシートモード使用時）または車両シートベルト（ジュニアモード使用時）で固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。



- チャイルドモードで使用の場合、幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- チャイルドモードで使用の場合、タングの磁石がペースメーカーの作動に影響をおよぼすおそれがあります。ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品にさせないでください。

- チャイルドモードで使用の場合、タングを差し込む際はお子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。

- チャイルドモードで使用の場合、タングの磁石に異物が付着するおそれがあります。使用前に異物の付着がないこと確認してください。

- チャイルドモードで使用の場合、磁気による損傷を受けやすいものはタングに近づけないでください。（磁気カード、腕時計、電子機器など）

安全にお使いいただくために

警告

- チャイルドモードで使用の場合、調節ベルトがシートカバーに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- ジュニアモードで使用の場合、車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。



- チャイルドモードで使用の場合、バックルにゴミ・飲食物などが詰まって**確実に差し込めない**場合、または**解除しにくい**場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- ジュニアモードで使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



- チャイルドモードで使用の場合、**幼児ベルトに傷**がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です

- チャイルドシートを**車両のシート可動部やドアにはさまない**ように、十分注意してください。



- 直射日光があたると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまが**ヤケドをするおそれ**があります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時**にお子さまにあたるおそれがありますので、**十分注意**してください。

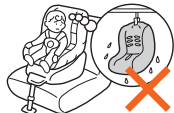


- 走行中は**、チャイルドシートの操作や**調節をしない**でください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、**転倒してケガをするおそれ**があります。本書に記載されていない**使いかたをしない**でください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材は**はずしたまま使用しない**でください。また、本製品以外のものと取り替えないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、**座席に傷や跡がつくおそれ**があります。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意

- 車両座席に、クッションや座布団など厚いものを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けしないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。

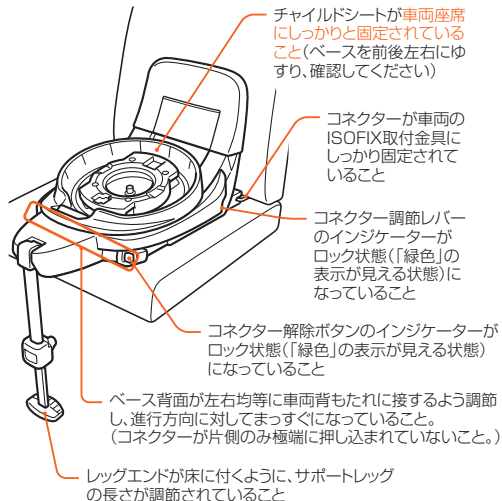


- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

⚠ 日常の点検

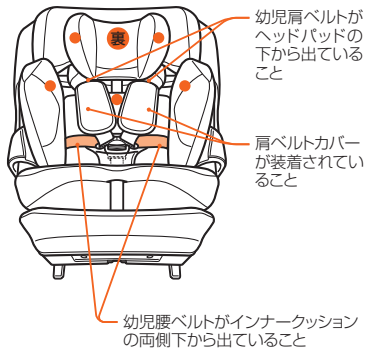
チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

車への装着



幼児ベルト・インナー Cushion の装着 (イラストは後向き使用例)

● 部分にウレタンやクッション材が入っていること



安全にお使いいただくために

⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

チャイルドモード お子さまの着座（イラストは前向き使用例）

幼児ベルトがお子さまの体に
フィットしていること。
(調節ベルトを引いてフィット
させてください)

差込タングがしっかりと
バックルに差し込まれて
いること。

リクライニングのレバーが
正規の位置に戻っていて、
シートが確実に固定されて
いること。

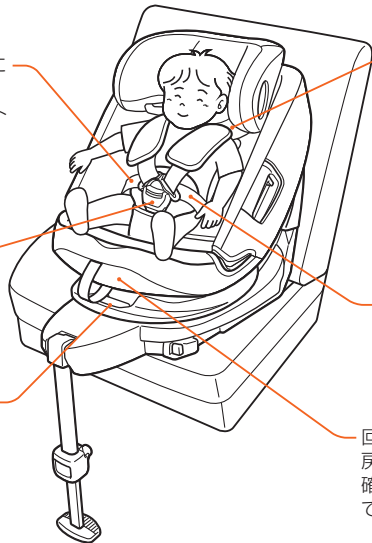
幼児ベルトが正しい位置に
調節されていること。
首に近いところを通り、開き
すぎていないこと。



警告

- 幼児ベルトに**ねじれやたるみがないこと。**
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルト**を低く下げること。

回転操作後、レバーが正規位置に戻っていて、シートがロックされ確実に後向きまたは前向きになっていること。



⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

ジュニアモード お子さまの着座

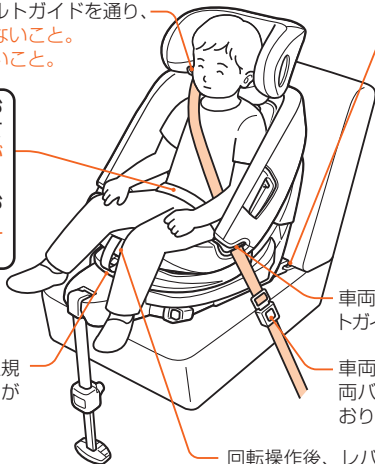
車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、
お子さまの首を圧迫していないこと。
また、肩からはずれていないこと。



警告

- 車両シートベルトがお子さまの体に密着して**いてねじれやたるみがないこと。**
- 車両シートベルトがお子さまの**骨盤を押さえていること。**

リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シートが確実に固定されていること。



コネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかり固定されていること
※ジュニアモードではISOFIXコネクターを使用する場合と、使用しない場合の2通りの固定ができます。
（「ジュニアモードへの変更のしかた」参照）

車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。

車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。

回転操作後、レバーが正規位置に戻っていて、シートがロックされ確実に前向きになっていること。

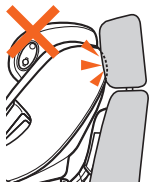
リクライニングのしかた

「後向き」および「前向き」使用時、お子さまの体重に関わらず、5段階に角度を調節することができます。

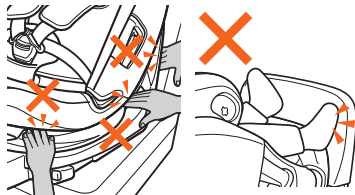


チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

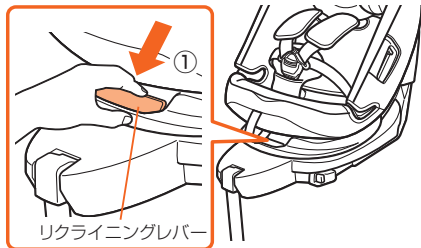
- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



- シートの背部やリクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作をしないでください。
- 「後向き」使用時、リクライニング操作の際にお子さまの足が本体とベースのすき間にはさまらないように注意して行ってください。
- 同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- リクライニング操作は、必ず車を停車させて行ってください。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。

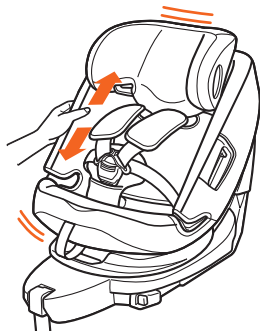


- 1** ①リクライニングレバーを手前に引きながら、
②シートのリクライニング角度を調節する。
(前向き/後向きともに5段階)



- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2** リクライニングレバーから手を離してシートを前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



操作後、リクライニングレバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

回転のしかた

どのリクライニングの角度でも、お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。

各部の使いかた



危険

シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。



警告

操作後、「カチッ」と音がしてシートが固定されていることを確認してください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

ワンポイント



車両に当たり回転できない場合は、ヘッドガードの高さを調節して回転操作を行ってください。
（ヘッドガードの高さの調節のしかたは46 ページの手順2 参照）

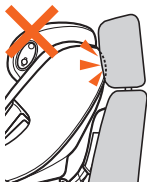


警告

シートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。

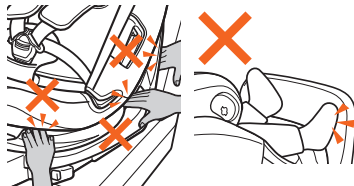
- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
- 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。

※ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



注意

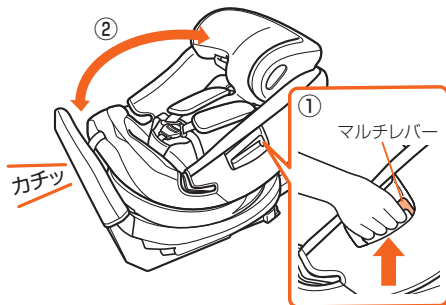
- ベース背面やシートの背面、リクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、回転操作の際にお子さまの足が本体とベースのすき間にはさまないように注意して行ってください。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。



回転のしかた

お子さまの乗せ降ろしをしやすくするため、シートを回転することができます。

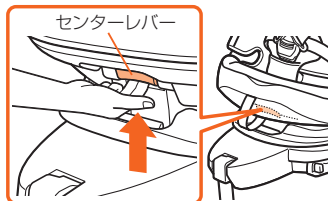
- 1** ① マルチレバーの片側をしっかりと握りシートをまわし、
② 動き始めたらマルチレバーの握りをゆるめ、「カチッ」と音がしてロックするまで、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。



ワンポイント



回転はセンターレバーでも操作が可能です。



危険

- シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能を果たさず危険です。
- 走行中は回転操作をしないでください。

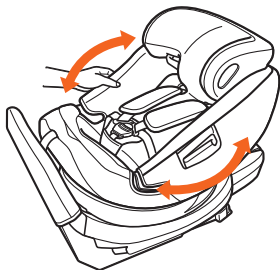


注意

- 回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

2 シートを前後左右に動かし、確実にロックされていることを確認する。

※回転構造上シートに遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。



操作後、「カチッ」と音がしてシートが固定されていることを確認してください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

取り付け準備



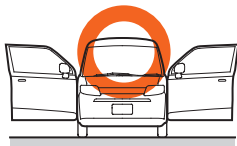
- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- チャイルドモード使用時は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けないでください。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。

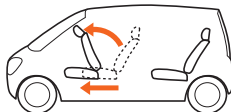
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



- 1** ①取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。

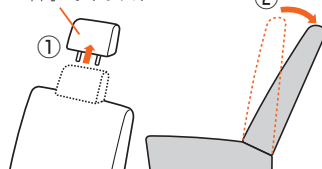


- ②車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



- 2** ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
- ②車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

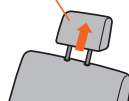
車両ヘッドレスト



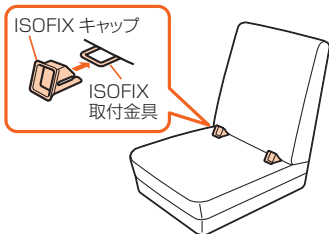
ワンポイント

車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。

車両ヘッドレスト



3 ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ワンポイント



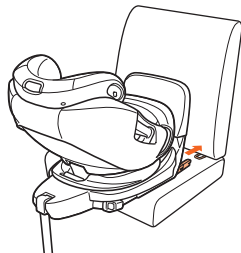
ISOFIX 取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けるとベース背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



ワンポイント



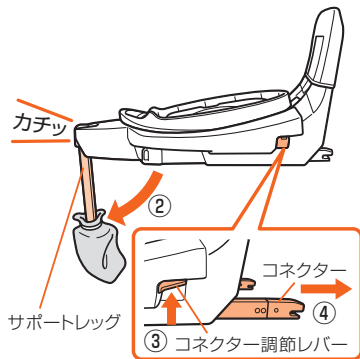
- シートは取りはずさなくとも車に取り付けることができますが、シートを取りはずすことで、車に取り付けしやすくなります。
- シートを取りはずさずに車に取り付ける場合、車への取り付けかたはベースのみ先に取り付ける場合と同じです。(31ページ「車への取り付けかた」参照)
- シートは、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは同じです。



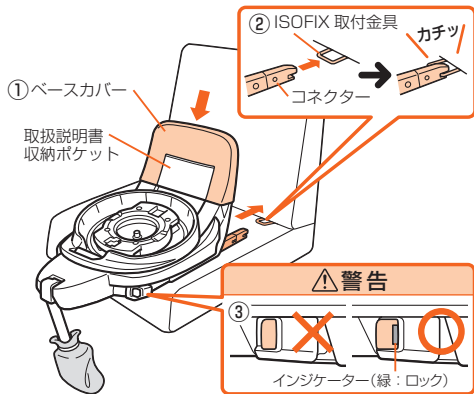
車への取り付けかた

本製品は、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。

- 1**
- ①シートを取りはずす。
（「シートの取りはずし、取り付けのかた」参照）
 - ②サポートレッグを「カチッ」と音がするまで引き出す。
 - ③ベース側面のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 - ④コネクターを最大まで引き出す。
- ※左右それぞれ作業を行ってください。

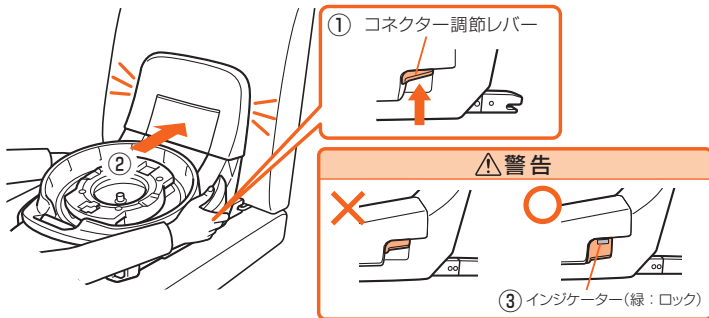


- 2**
- ①ベースカバーを取説説明書収納ポケットが内側になるように取り付ける。
 - ②左右のISOFIX 取付金具に「カチッ」と音がするまで、コネクターを差し込む。
 - ③インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



警告 必ずベースカバーを使用してください。

- 3** ①左右のコネクター調節レバーを押し上げながら、
 ②ベース背面が車両背もたれに接するまで強く押し込み、手をはなす。
 ③インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。
 「緑色」であっても可能な限り押し込むことで、しっかりと固定できます。



ワンポイント



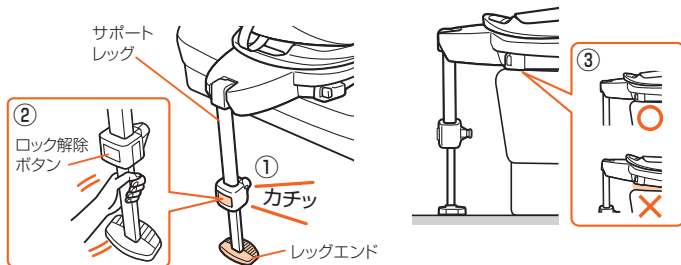
車両によっては、しっかり押し込んでもベース背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。



サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。本製品を移動する際には、サポートレッグが自重で自動的に伸びるため注意してください。さらにサポートレッグで手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

車への取り付けかた

- 4 ①固定の袋をはずし、レッグエンドを自重で車両の床まで伸ばす。
②ロックボタンが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認する。
③実際に手で上下に動かしレッグエンドが縮まずに確実にロックされていることを確認する。
④サポートレッグの長さが長すぎて、本体が車両シートから浮いてすき間が発生していないか確認する。



危険

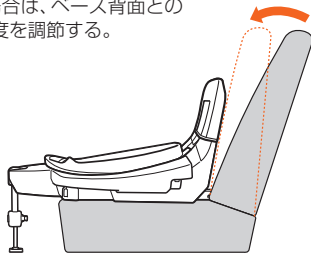
調節後は、サポートレッグのレッグエンドが必ず床についていることを確認してください。

ワンポイント

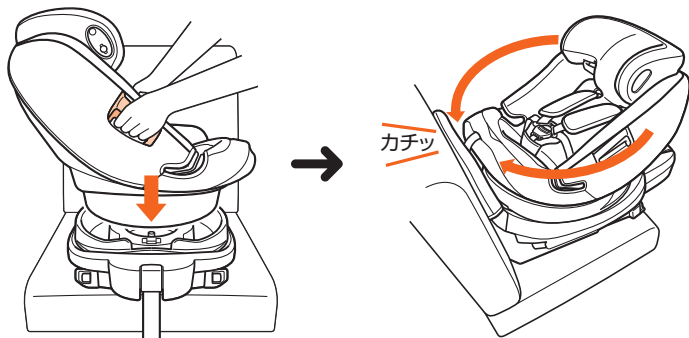


- レッグエンドが自重で床まで伸びずに止まってしまった場合は、ロック解除ボタンを押して手動でレッグエンドが床につくまで伸ばしてください。
- レッグエンドを床まで伸ばしたとき、ロック解除ボタンから「カチッ」と音がせずロックされなかった場合には、レッグエンドを下に伸ばし最初に「カチッ」と音がしてロックした位置でご使用ください。

- 5** 車両背もたれがリクライニングできる場合は、ベース背面とのすき間ができるだけ小さくなるよう、角度を調節する。



- 6** シートを取り付ける。
(「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照)



取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていること。
- ②サポートレッグがしっかり車両床面に付くように長さが調節されていること。（無理に突っ張る必要はありません）車両シートとベースにすき間が発生しないように調節する。
- ③ベースを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。

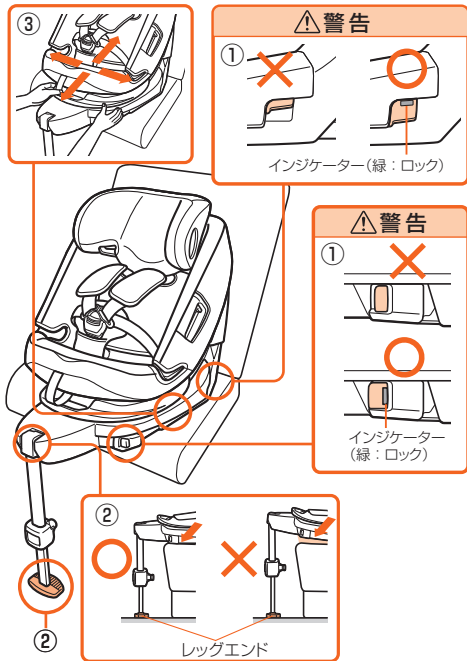
ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

ワンポイント



車両によってはシートのひじかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。

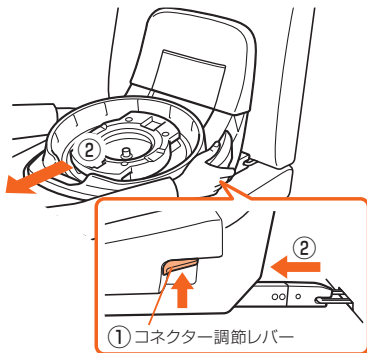
その際は、ISOFIX 取付金具へコネクタを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その際にベースを持ち前方向に引っ張り、ベースが動かず左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認した後に、②③の完了チェックを行ってください。



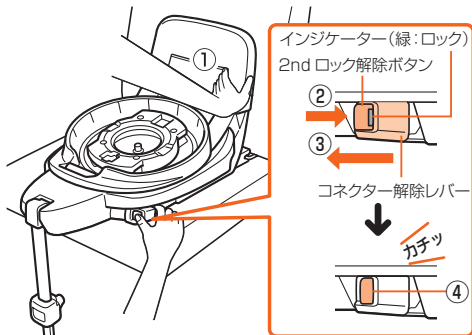
memo

車からの取りはずしかた

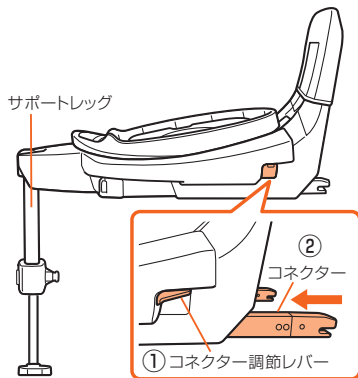
- 1** ①シートを取りはずす。
（「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照）
- 2** ①左右のコネクター調節レバーを押し上げながら、
②ベースを手前に引く。



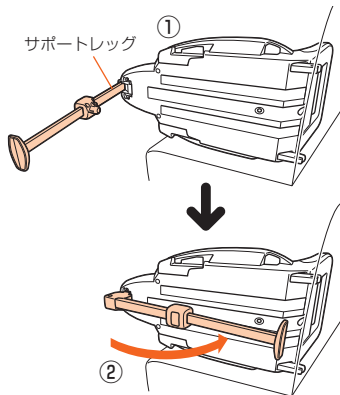
- 3** ①ベースの背面を片手で抑えつける。
②片側ずつ2ndロック解除ボタンをしっかりとつまみながら、
③コネクター解除レバーをまっすぐ手前に引く。
④インジケーターがロック解除（「緑色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。



- 4** ①ベース側面のコネクター調節レバーを押し上げながら、
②コネクターを収納する。



- 5** サポートレッグを収納する。
①作業スペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
②「カチッ」と音がするまでサポートレッグを折りたたむ。
(レッグエンドは伸ばした状態で作業してください)



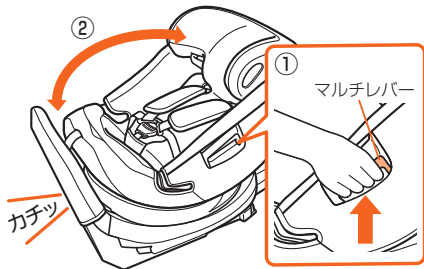
サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。本製品を移動する際には、サポートレッグが自重で自動的に伸びるため注意してください。さらにサポートレッグで手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

シートの取りはずし、取り付けのしかた

車両への取り付けをやすくするため、シートを取りはずすことができます。

ベースから取りはずす

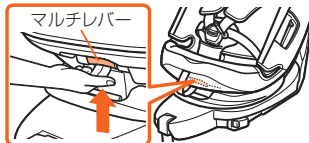
- 1** ①片側のマルチレバーを握りながら、
②シートをベースに対し90°まわす。
（「回転のしかた」参照）



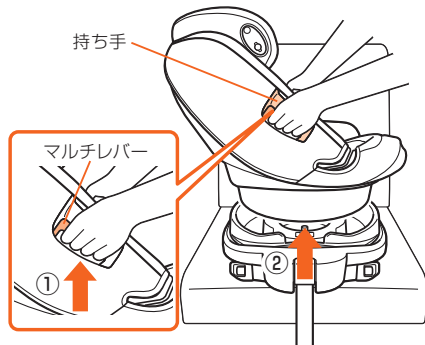
ワンポイント



回転はセンターレバーでも操作が可能です。
（「回転のしかた」参照）

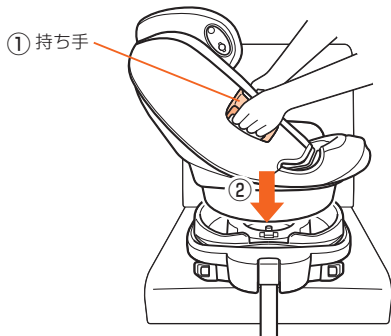


- 2** ①両側のマルチレバーを握りながら、
②シートを持ち上げる。
※片側だけの操作ではシートは持ち上がりません。

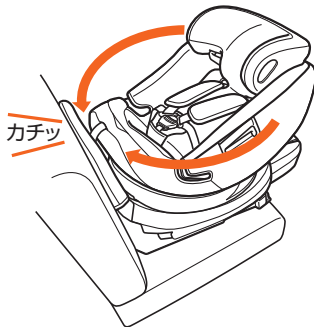


ベースに取り付ける

- 1 ①シートがベースに対し、90°になるように持ち、
②シート底面をベースの円形状に合わせて置く。



- 2 「カチッ」と音がしてロックするまで、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。



注意

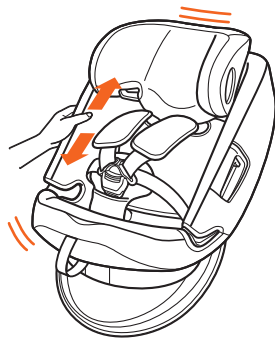
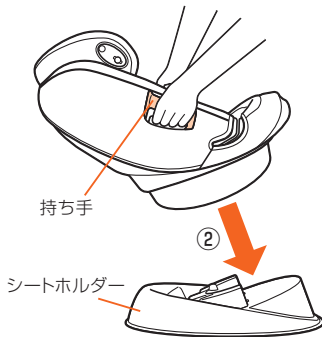
- 取りはずし、取り付け操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

シートの取りはずし、取り付けのしかた

シートをシートホルダーに取り付けることによって、室内でもお子さまを乗せて使用することができます。

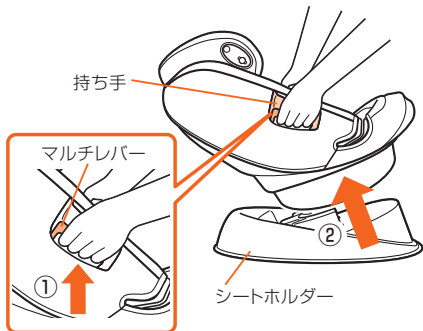
シートホルダーに取り付ける

- 1** ①シートホルダーの向きが正しいことを確認し、
②シート底面をシートホルダーの円形状に合わせて置く。
- 2** シートをゆすってもガタつきがなく、固定されていることを確認する。



シートホルダーから取りはずす

- ①左右両側の持ち手にあるマルチレバーを握りながら、
 - ②シートを持ち上げる。
- ※片側だけの操作ではシートは持ち上がりません。



危険

- お子さまを座らせる目的以外（踏み台や遊具など）でシートホルダーを使用しないでください。
- 室内でお子さまを乗せる場合は、必ず保護者の目の届く範囲で使用し、シートの座面には立たせないでください。



警告

- お子さまを乗せたままシートホルダーを動かしたり、床を引きずって移動させないでください。
- このシートホルダーはベッドとして代用できるものではありません。お子さまに睡眠が必要な場合には、適切な場所に寝かせてください。
- シートホルダーに乗せるときも必ず幼児ベルトを使用し、お子さまと幼児ベルトの間に大人の手のひらが入る程度に調節してください。
- シートホルダーは床置き専用です。持ち運びの際は持ち手を握りシートホルダーをはずしてから、シートのみを持ってください。
- テーブルの上などの高い場所や、大人用いすの上で使用しないでください。
- 持ち運び・室内での使用の際は、必ず調節ベルトをたたんでベルト調節口にしまい込んでください。



注意

- 室内で使用する際は、1時間程度を目安にお使いください。

お子さまを乗せたシートの持ち運びかた

シートを持ち運ぶ

- 1** ベースまたはシートホルダーからシートを取りはすす。
〔シートの取りはずし、取り付けのしかた〕参照

- 2** シートを持ち運ぶ。



お子さまを乗せたシートを持つときは、必ず両手でそれぞれのマルチレバーを握ってください。



- 持ち運びのお子さまの使用条件は 9kg 未満までですが、その体重に満たない場合でも、持ち運びが困難と感じた場合やお子さまの体格に合わないと感じた場合は、お子さまを乗せて持ち運びしないでください。
- 障害物への対応で一時的にシートを直置きする場合は、ぬかるみや砂利などシートの底面が汚れるような場所へ置くことは避け、平らで安定した地面に置くようにしてください。
- 階段や段差のある場所では、足元に十分注意してください。

シートはお子さまと対面の状態で持ってください。



持ち運びの際は必ず左右それぞれのマルチレバーをしっかりと握り、**両手と腹部を支えとし、均等に力を入れて**運んでください。

お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は、8段階に調節することができます。

はじめてご使用になる際も、必ず肩ベルトの高さをご確認ください。

幼児肩ベルト位置の目安

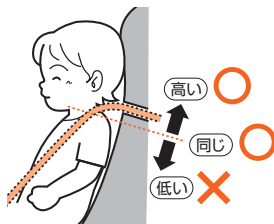
●後向き使用時

インナークッションの使用有無に関わらず、幼児肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。



●前向き使用時

幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置になるように調節して使用してください。



幼児肩ベルト位置の調節のしかた

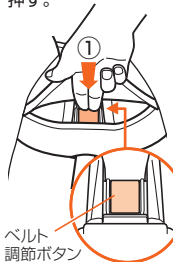
- 1** ①ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、
②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、
幼児ベルトはゆるみません。

ワンポイント



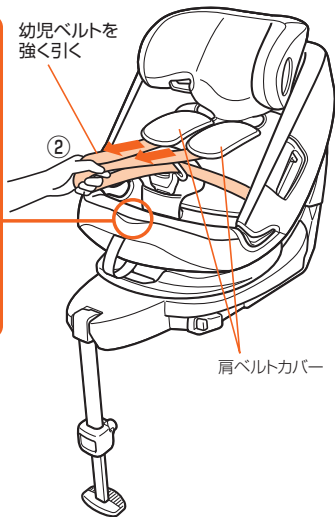
幼児ベルトが引き出しにくい場合はベルト調節ボタン奥側を押しながら、片側ずつ強く引いてください。

ベルト調節ボタンを押す。



ベルト
調節ボタン

幼児ベルトを強く引く

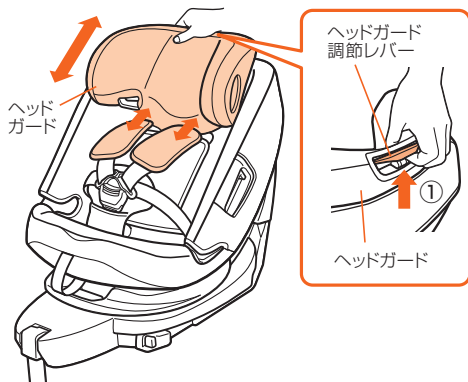


肩ベルトカバー

- 2** ①ヘッドガード調節レバーを引き起こしながら、高さを調節する。
 ②適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離し、
 ③ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。
 ※ヘッドガードに連動して幼児肩ベルト位置も上下します。

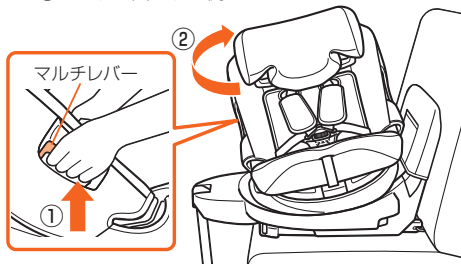


幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置を調節しないでください。



お子さまの座らせかた

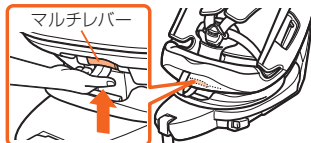
- 1 お子さまを乗せやすくするため、
①マルチレバーを押し上げながら、
②シート正面をドア側にまわす。



ワンポイント

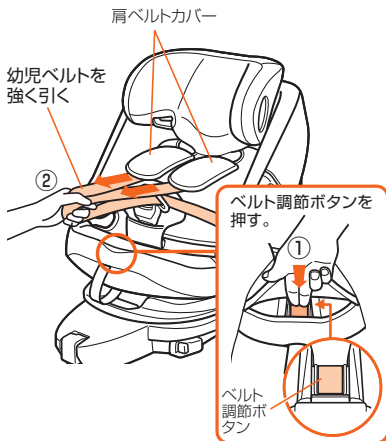


回転はセンターレバーでも操作が可能です。
（「回転のしかた」参照）



- 2 ①ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、
②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。

※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



シートを横向きにしたまま走行しないでください。
横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。

- 3** ①バックルボタンを押し、タングをはすす。
 ②お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。
 ③左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。
 ④インナークッション頭部後ろにあるクッションの位置を調節する。



インナークッション使用の場合には、以下にご注意ください。

- ② お子さまを深く座らせてください。
 幼児ベルトなど正しい装着がしやすくなります。
- ④ 頭部後ろのクッションの位置を調節してください。



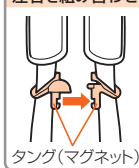
- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。
 しっかりと拘束出来ない場合があります。
- おくるみなど、両足が分かれぬ衣類の着用はおやめください。
- お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



お子さまの座らせかた

- 4** ①左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。
②バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。

左右を組み合わせ



タング(マグネット)

差し込む



差込表示の「赤色」が「緑色」に変わります。



危険

- チャイルドシートの差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が「緑色」に変わっていることを確認してください。
- タングをバックルに差し込んでインジケーターが「緑色」に変わらないうちは、使用しないでください。

ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右のタングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

- 5** ①幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと拘束するように、低く下げる。
②幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③調節ベルトを手前に引き、
④お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



警告

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

- 6** シートを後向き、または前向きにまわす。

お子さまの降ろしかた

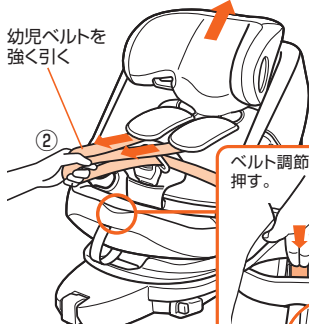
ワンポイント

インナークッションを付けた状態で、幼児ベルトを最大に伸ばしても短いと感じる場合にはヘッドガードの高さを最上段まで引き上げ、幼児ベルトを引き出し、ヘッドガードの高さを元に戻してください。

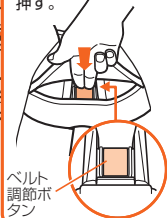
※お子さまを乗せる際は必ずヘッドガードをお子さまの身長に合わせた高さに戻してからご使用ください。

① ヘッドガードを最上段まで引き上げる

幼児ベルトを強く引く

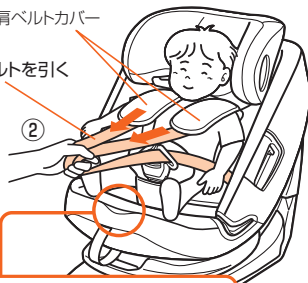


ベルト調節ボタンを押す。

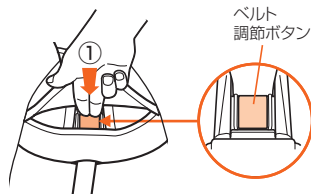


- ①ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、
- ②左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。
- ③バックルボタンを押し、タングをはずす。
- ④お子さまをおろす。

肩ベルトカバー
幼児ベルトを引く



ベルト調節ボタンを押す。



チャイルドモードの使いかた

ジュニアモードへの変更のしかた

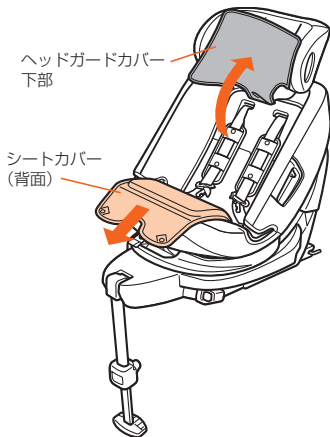
ジュニアモードでは、以下の2通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長	100cm ~ 125cmまで	
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
車両への固定方法	A	B
	お子さまを拘束している 車両シートベルト、サポートレッグと ISOFIXコネクターで車両座席に固定 します。	お子さまを拘束している 車両シートベルトとサポートレッグで 車両座席に固定します。
車両シートベルト	使用	使用
サポートレッグ	使用	使用
ISOFIX コネクター	使用	不使用

変更のしかた

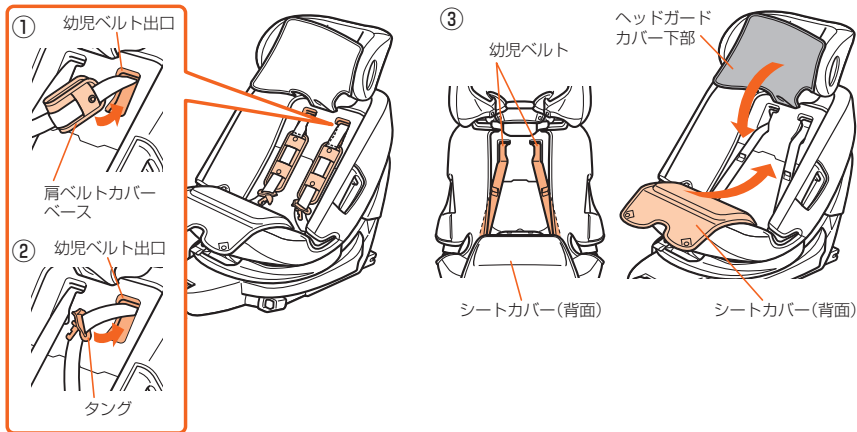
※ジュニアモードでは、インナークッションを使用しないでください。

- 1** インナークッションを取りはずす。
（「インナークッションの取りはずし」参照）
- 2** 肩ベルトカバーを肩ベルトカバーベースからはずす。
（「肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け」参照）
- 3** 幼児ベルトを引き出す。
（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた 1」参照）
- 4** 上部ヘッドガード調節レバーでヘッドガードを最上段まで引き上げる。
（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた 2」参照）
- 5** ヘッドガードカバー下部をめくり上げ、シートカバー（背面）を手前に引いておく。

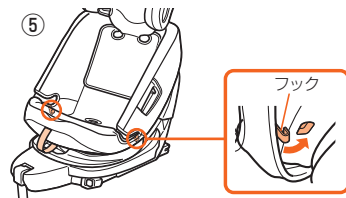
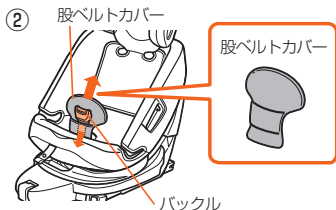
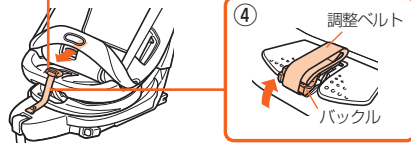
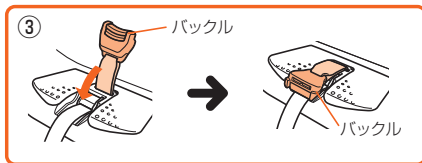
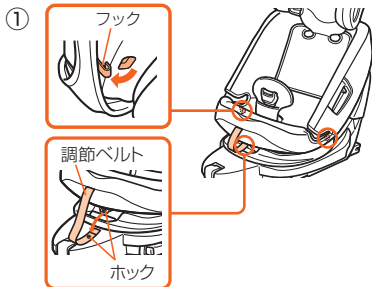


ジュニアモードへの変更のしかた

- 6** ①肩ベルトカバーベースを折りたたみ、背もたれの幼児ベルト出口から中へ収納する。
②タングを背もたれのスリットに収納する。
③幼児ベルトがねじれないようにシート背面にそわせ、シートカバー（背面）、ヘッドガードカバー下部の順にカバーを戻す。



- 7** ①座面カバー側面下の2カ所のフックと調節ベルト先端のホックをシートカバー裏側からはずす。
 ②バックルを股ベルトカバーから引き抜き、股ベルトカバーを取りはずす。
 ③座面カバーをめくりバックルを下側に抜き座面中央ベルト調整ボタンの前におく。
 ④調節ベルトを折りたたみバックルに重ねる。
 ⑤座面カバーをもどし、座面カバー側面下の2カ所のフックをとめる。



ジュニアモードへの変更のしかた

取りはずしたインナークッション、肩ベルトカバー、股ベルトカバーを車内に放置しないでください。
車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。
(大切に保管し、なくさないようにしてください。)



●インナークッション



●肩ベルトカバー



●股ベルトカバー



取り付け準備



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

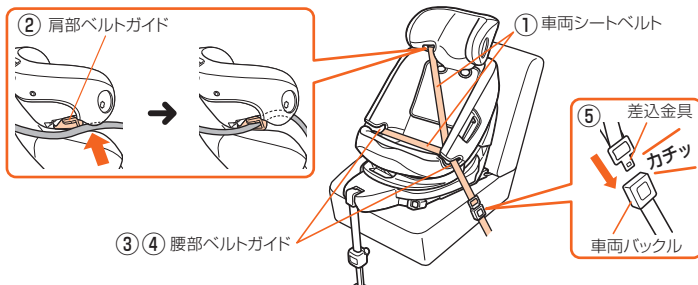
チャイルドモードと同様の手順で取り付け準備をする。
(29ページ「チャイルドモードの使いかた／取り付け準備」参照)

車への取り付けかた

1 ISOFIX コネクター、サポートレッグで取り付ける。
(31 ページ「車への取り付けかた」参照)

2 車両シートベルトで固定する。

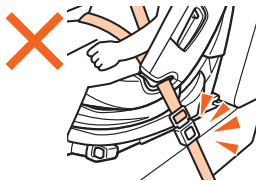
- ① 車両シートベルトを引き出す。
- ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
- ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
- ④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
- ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



警告

急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。

車両バックルや差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

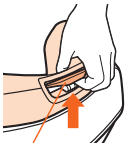
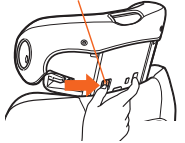


お子さまの座らせかた

- 1 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。



ジュニアモードのヘッドガードは、以下の方法で調節してください。

お子さまの身長 100cm ~ 125cmまで	
上部ヘッドガード調節レバー	背面ヘッドガード調節レバー
ヘッドガード上部のレバーを引き起こしながら高さを調節する  上部ヘッドガード調節レバー 最上段で肩部ベルトガイドの高さが合わない場合は、背面ヘッドガード調節レバーで調節してください。	ヘッドガード背面下部のレバーをつまみながら、最上段まで上げ高さを調節する  背面ヘッドガード調節レバー

ワンポイント



背面ヘッドガード調節レバーでヘッドガードを最上段まで上げている状態では、上部ヘッドガード調節レバーの操作はできません。

ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

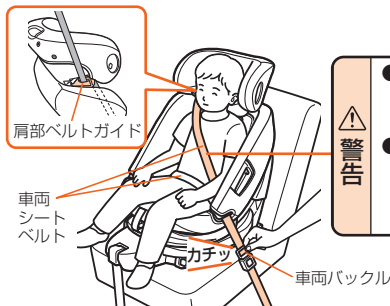
肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも少し上にし、車両シートベルトが、顔や首にかからないように調整してください。



⚠️ 注意

肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

- 2**
- ① 車両シートベルトを引き出す。
 - ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
 - ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
 - ④ 肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
 - ⑤ 「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。

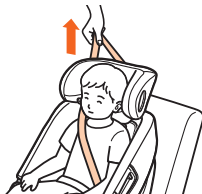


⚠️ 警告

- 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- 車両シートベルト(腰部)は必ずお子さまの骨盤を押さえるようにすること。

お子さまの座らせかた

- 3** 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト（肩部）を上へ引いて張り具合を調節する。



- 4** チャイルドシートの取り付け、お子さまの座らせかたが、正しく行われているか確認する。（日常の点検 ジュニアモード参照）

●本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。

●お子さまを下図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

- のけぞる、前かがみになる。
- お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。
- 中腰・正座・立てひざなどをする。



●お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



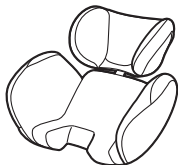
警告

チャイルドモードへの戻しかた

「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした部品を準備してください。
チャイルドモードへの戻しかたは、51ページから54ページ「ジュニアモードへの変更のしかた」の逆の手順を行ってください。

- 「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずしたインナークッション、肩ベルトカバー、股ベルトカバーがすべて取り付けられているか確認してください。
- バックルが収納されていないことを確認してください。

●インナークッション



●肩ベルトカバー



●股ベルトカバー



⚠
注意

ジュニアモードの使いかた

[illegible]

インナークッションの使いかた

お子さまの身長によって使いかたが異なります。

後向き（進行方向に対して後向きに取り付け）

使用する

使用しない

身長40cm～65cm未満の場合 身長65cm～75cmまでの場合 身長75cmを超える場合



お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる



※インナークッションは製品により仕様が異なる場合があります。
※製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

警告

必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。



インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。



はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

前向き（進行方向に対して前向きに取り付け）

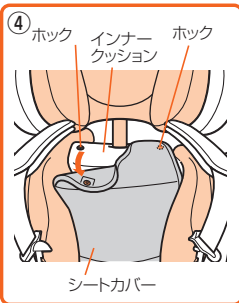
使用禁止

お手入れ・その他

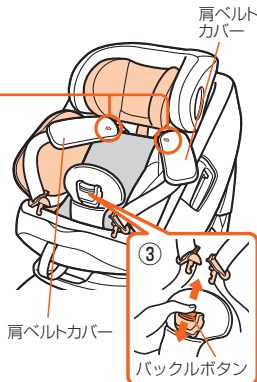
インナークッションの使いかた

インナークッションの取りはずし

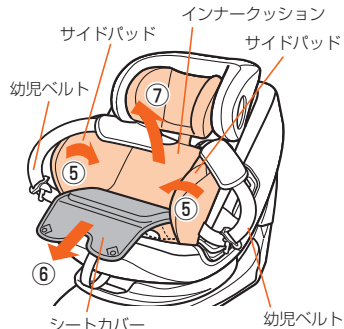
- ①ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ②ヘッドガードを引き上げる。（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ③バックルボタンを押し、タングをはずす。
- ④背面部のシートカバーとインナークッションをつなぐホックを2カ所取りはずす。（肩ベルトカバー下にあります）



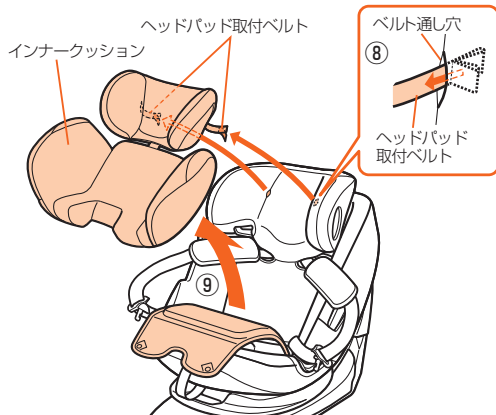
※このホックはインナークッション装着時のみに使用します。



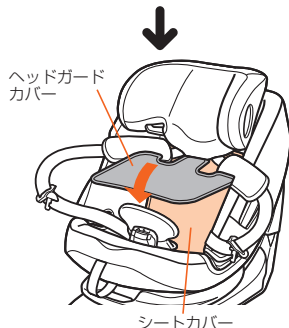
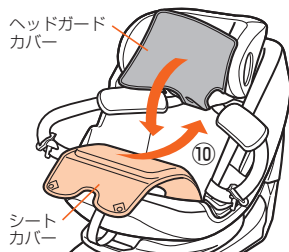
- ⑤左右の幼児ベルトからサイドパッドをくぐらせ、
- ⑥シートカバーをイラストのように手前に引きながら、
- ⑦インナークッションを引き出す。



- ⑧ヘッドガード両側のベルト通し穴からインナークッション
ヘッドパッド取付ベルトの先端を引き抜き、
⑨インナークッションを取りはずす。



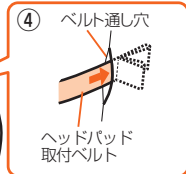
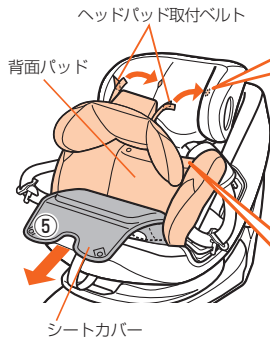
- ⑩手前に引き出したシートカバーを
ヘッドガードカバーの下に差し入
れる。



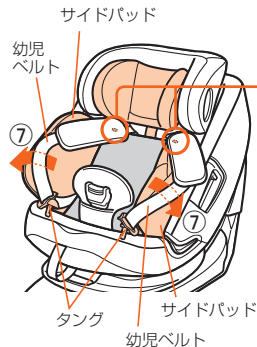
インナークッションの使いかた

インナークッションの取り付け

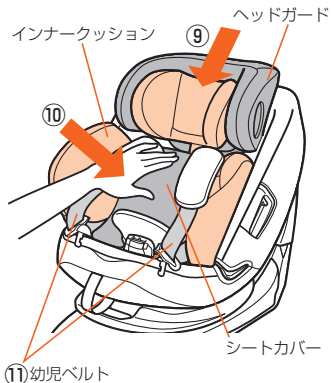
- ①ベルト調節ボタン（奥側）を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ②ヘッドガードを引き上げる。
（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ③バックルボタンを押し、タングをはずす。
タングは外側に出しておく。
- ④インナークッションヘッドパッド取付ベルトの先端をヘッドガード両側のベルト通し穴に深く差し込む。
軽く取付ベルトを引っ張り、抜けないことを確認する。
- ⑤イラストのように重なっていたシートカバーを手前に引きながら、
- ⑥背面パッドを底に押し込む。



- ⑦左右の幼児ベルトにサイドパッドを通す。このとき、タングが中に埋まらないように引き出しておく。
- ⑧背面部のシートカバーとインナークッションをつなぐホックを2カ所取り付ける。(肩ベルトカバー下にあります)

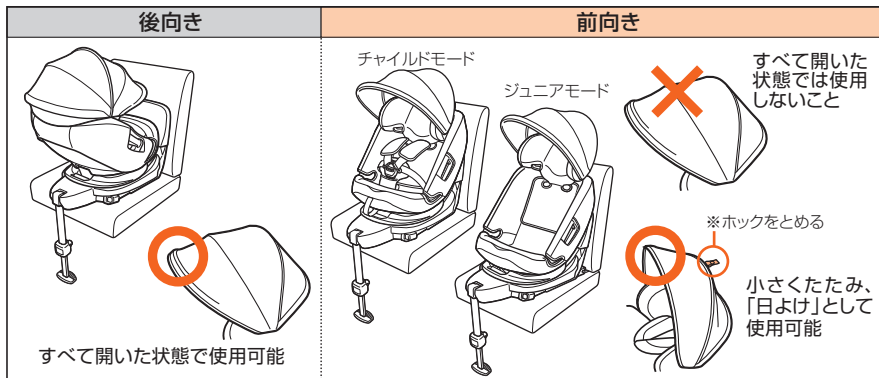


- ⑨ヘッドガードを下げ、お子さまに合わせた高さに調節する。
([幼児肩ベルト位置の調節のしかた]参照)
- ⑩シートカバーの上からインナークッションを押し込み、奥に入っていることを確認する。
- ⑪幼児ベルトが正しい位置から出ていることを確認する。
([幼児ベルト・インナークッションの装着]参照)



幌の使いかた

シートの向きによって使いかたが異なります。 ※取りはずした状態でも使用できます。



- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触するおそれがあり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで使用するか、取りはずしてください。



- チャイルドシートを持ち運びするときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

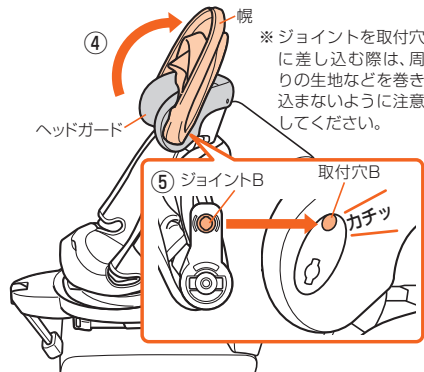
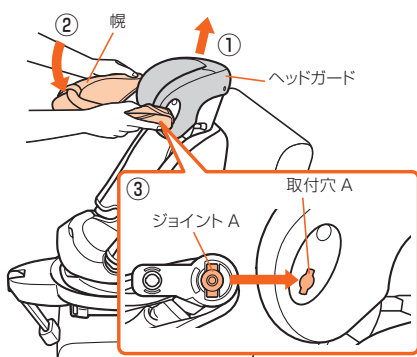
※ 幌は製品により、仕様が異なる場合があります。

※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

※ 幌が車の内装に干渉する場合は、幌を使用しないでください。

幌の取り付けかた

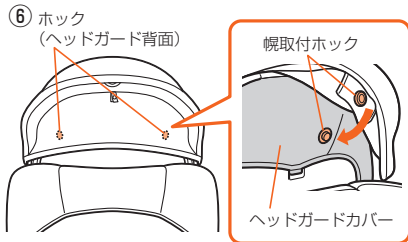
- ①ヘッドガードを引き上げる。（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
- ②幌を小さくたたむ。
- ③左右のジョイントAをヘッドガード側面の取付穴Aに形を合わせて、差し込む。
- ④ジョイントAを中心に後方にまわしながら、
- ⑤左右のジョイントBをヘッドガード側面の取付穴Bに「カチッ」と音がするまで差し込む。



幌の使いかた

幌の取り付けかた

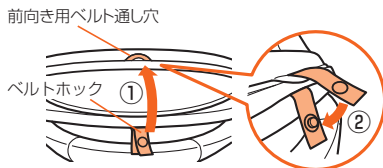
- ⑥ 幌背面のフック(2カ所)をヘッドガードカバーの幌取付フックに取り付ける。



幌背面左右のフック(2カ所)が、ヘッドガードカバーに取り付けられていることを確認してください。

前向きで使用するとき

- ① 幌背面にあるベルトフックを幌上部にある前向き用ベルト通し穴に通し、
② フックでとめる。



● 幌は誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があります。危険です。

● 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで幌上部のフックを閉じて「日よけ」として使用するか、ヘッドガードから取りはずしてください。

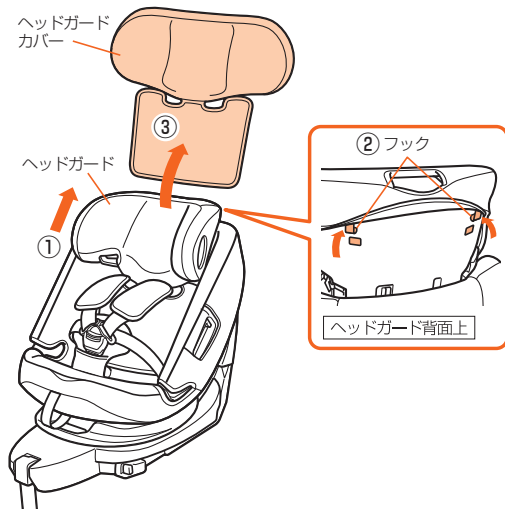
■ 前向き使用時



※フックをとめる

ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

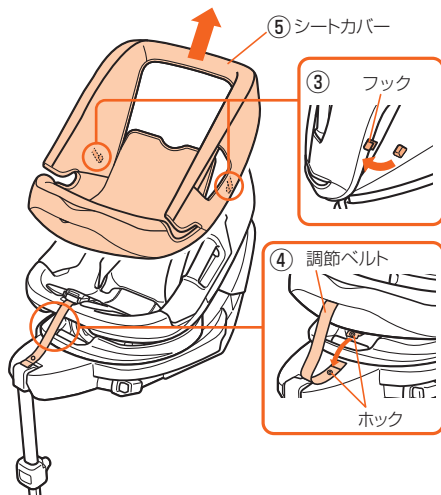
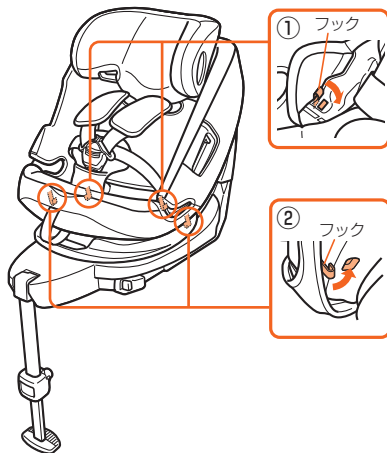
- ①ヘッドガードを引き上げる。（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
 - ②ヘッドガードカバー上部裏のフック（2カ所）を取りはずす、または取り付ける。
 - ③ヘッドガードカバーを取りはずす、または取り付ける。
- ※ヘッドガードに取り付けているクッション材を割らないようにご注意ください。



カバーの取りはずしかた・取り付けかた

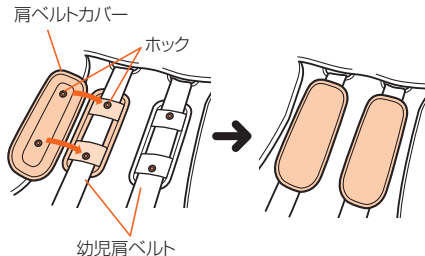
シートカバーの取りはずしと取り付け

- ①座面の内側のフック（左右各1カ所ずつ）を取りはずす、または取り付ける。
- ②シートカバー側面前側のフック（2カ所）を取りはずす、または取り付ける。
- ③シートカバー側面のフック（左右各1カ所ずつ）を取りはずす、または取り付ける。
- ④調節ベルト先端のフックをシートカバー裏側から取りはずす、または取り付ける。
- ⑤シートカバーを取りはずす、または取り付ける。



肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

ホック (2カ所) を取りはずす、または取り付ける。

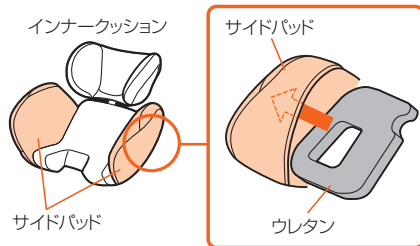


※ 肩ベルトカバーは製品により、仕様が異なる場合があります。

※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

インナークッションのサイドパッドウレタンの取りはずしと取り付け

インナークッションのサイドパッド裏面のポケットから中のウレタンを取りはずす、または取り付ける。取り付ける際は、縫製品の形状に合うように穴が開いている部分から差し込んでください。



お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

洗濯上の注意

	液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作によるウエットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 干すときは十分にすすぎ、軽く脱水し、形を整えてください。
- シートカバーを洗濯するときは、背面に入っているクッションを取りはずしてください。
- インナークッションを洗濯するときは、頭部・座部・サイドパッドに入っているクッションを取りはずしてください。

幌のお手入れのしかた

- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトを傷めるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、ベースカバーの収納ポケットに保管してください。
(6ページ参照)

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。
下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後10年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。

不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名		保証期間	
ロットNo.		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)	
お客様	お名前	お買い上げ日	
		年 月 日	
販売店	ご住所 〒	TEL	
	店名	TEL	

修理メモ

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマーブラザにお送りください。
 - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷やぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタルなどで使用され故障した場合。
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
 5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちに記入願います。
 - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - 領収書(レシート)を本書といっしょに保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

[illegible]

Combi

コンビ
THE S Long
シリーズ

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間: 9:30~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間: 10:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan

199186070 26.10

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。